

科目名			日本史探究		学年	普通科			必／選	単位数	
					3	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	3
						国文	理進				
						○		○	○		
学 習 目 標			日本の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、歴史事象の意味や意義、日本の文化の特色などを時代背景や現代世界とのつながりをふまえて考察し、よりよい社会の実現に向けて、諸課題を主体的に探究しようとする態度を養い、自国の歴史に対する愛情や他国の文化を尊重する力を身につける。								
使 用 教 材			教科書：高等学校 日本史探究（第一学習社） 副教材：新詳 日本史（浜島書店）								
評 価			評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ロイロノート課題、ノート（プリント）、振り返りシート等で評価します。							
			評価観点の趣旨	a	知識・技能	世界と日本の歴史的事象を広く理解し、諸資料から様々な情報を適切に読み取ることができる。					
				b	思考・判断・表現	歴史に関わる様々な課題の原因を多面的・多角的に考察し、解決の手立てを自ら考え、発表することができる。					
				c	主体的に学習に取り組む態度	歴史的事象をもとに、よりよい社会の実現に向けて現代が抱える課題を自ら追求しようすることができる。					
			上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容			評価方法				
					a	b	c				
1 学期	4	10	・ 原始・古代の日本と東アジア ・ 中世の日本と世界	・ 日本文化の始まりや農耕文化の始まりによる人々の生活の変化について考察する。 ・ クニや国家の成り立ちによる政治の変化について学ぶ。 ・ 仏教の伝来によって日本の文化や生活がどのように変化したのか学ぶ。 ・ 律令国家の仕組みと国家の統治について学ぶ。 ・ 貴族社会から武家社会への移り変わりの流れを理解する。 ・ 鎌倉幕府の発展と衰退への過程を土地制度や外的要因などをふまえて考察する。 ・ 室町幕府の成立と外交について理解し、民衆一揆が政治にどのような影響を与えたのか考察する。	小テスト	パフ オー マン	振り返り シート 提出物				
	5	10			中間 考査	ス課 題 中間 考査					
	6	10			期末 考査	期末 考査					
	7	12				ロ イ ロ 課 題					
		9									

2 学 期	9	1 2	・近世の日本 と世界	・戦国の世から天下統一までの流れをヨーロッパの文化の到来もふまえて学ぶ。 ・江戸幕府が強大な力を持つことができた要因を幕府の統制の仕組みや外交などの面から考察する。	小テスト	ロイ ロ課 題	振り返り シート
	1 0	1 2	・近現代の地 域・日本と世 界	・江戸時代の産業や文化の発展がもたらした影響について考察する。 ・江戸幕府崩壊の要因を内外の政治の面から学ぶ。 ・外国の文化や制度が明治の日本にどのような影響を与えたのか、考察し、発表する。 ・清やロシアとの戦争が起こった要因と、その後の影響について学ぶ。 ・大正政変や護憲運動などの民衆運動が政治に与えた影響を考察する。	中間 考査	中間 考査	提出物
	1 1	1 2			期末 考査	期末 考査	
	1 2	7				パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	
3 学 期	1 2	1 0 1 1	・近現代の地 域・日本と世 界 ・現代の日本 の課題の探求	・日本が太平洋戦争に向かう流れを政治・経済・外交などの面から学ぶ。 ・戦後の日本の発展過程を学ぶ。 ・自分の選んだ様々な歴史のテーマについて探求する。	学年末考 査	学年 末考 査 パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	振り返り シート
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
評価方法：定期考査と小テストの点数・ロイロノート課題の内容・提出物の状況からそれぞれA～C評価で判断。							

科目名			世界史探究		学年	普通科			必／選	単位数	
					3	アドバンス		キャリア	スポーツ	選	2
						国文	理進				
									○		
学 習 目 標			世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、時代背景や現代世界とのつながりをふまえて、歴史的な課題の解決を考察し、自国の歴史への愛情や他国の文化を尊重する力を身につける。								
使 用 教 材			教科書：新詳世界史探究（帝国書院） 副教材：グローバルワイド 最新世界史図表（第一学習社）								
評 価			評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ロイロノート課題、ノート（プリント）、振り返りシート等で評価します。							
			評価観点の趣旨	a	知識・技能	世界と日本の歴史的事象を広く理解し、諸資料から様々な情報を適切に読み取ることができる。					
				b	思考・判断・表現	世界が抱えた様々な課題の原因を多面的・多角的に考察し、解決の手立てを自ら考え、発表することができる。					
				c	主体的に学習に取り組む態度	世界で起こった様々な歴史的事象をもとに、よりよい社会の実現に向けて現代が抱える課題を自ら追求しようとすることができる。					
			上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（１～５の５段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容		評価方法					
						a	b	c			
1 学期	4	6	・世界史へのまなざし ・諸地域の歴史的特質の形成	・自分たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結びつきがあるのかについて考える。 ・アジア諸地域の古代文明の形成と古代世界の国家形成について学ぶ。 ・オリエント世界や地中海世界の文明と国家形成について学ぶ・ ・キリスト教やイスラームの誕生と宗教世界について学ぶ。		小テスト	パフ	振り返りシート 提出物			
	5	6				中間考査	マン				
									ス課		
										題	
6	8	期末考査	中間考査	提出物							
7	5		期末考査								
2 学期	9	9	・諸地域の交流・再編	・イスラーム世界の拡大がユーラシア交流圏の拡大とどのように関連しているのかについて学ぶ。 ・明や清などの中華帝国とアジア世界との関連について学ぶ ・欧州の世界進出による世界の変化について考察する。		小テスト	ロイ	振り返りシート			
									ロ課		
1	1	9			中間	題					

	0 1 1 1 2	9 5	・諸地域の結 合・変容	・国民国家の成り立ちについて時代背景と関連付けながら学ぶ。 ・世界の一体化と帝国主義世界の関連について学ぶ。 ・二つの世界大戦がなぜ起きたのか考察し、発表する。 ・二つの世界大戦後の世界秩序の在り方を学ぶ。	考査 期末 考査	中間 考査 期末 考査 パ フ オ ー マ ン ス 課 題	提出物
3 学 期	1 2	6 7	・地球世界の 課題	・冷戦時代の世界がどのようなものであったか学ぶ。 ・グローバル化世界と情報化世界による世界の変化について考察する。 ・自らが考える地球世界の課題について考察し、発表する。	学年末考 査	学 年 末 考 査 パ フ オ ー マ ン ス 課 題	振り返り シート
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
評価方法：定期考査と小テストの点数・ロイロノート課題の内容・提出物の状況からそれぞれA～C評価で判断。							